

今月の内容

- ・大塩孝信会長のご挨拶(1面)
- ・清道衆講習会を開催(2面)
- ・日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
- ・新年のご挨拶(4・5面)
- ・よろこびちゃんの質問箱(6面)
- ・岩田先生の心も体も生き生き!(7面)
- ・よろこび法話(8面)

いのちと合掌
日蓮聖人750遠忌
 令和13年(2031年)

よろこび

聖徒のための情報誌



第167号 〒101-0051
 2025年(令和7年) 東京都千代田区神田神保町3-25-11
 1月1日(水) 喜助九段ビル702
1月号 九段事務所
 電話 03-6272-9340
 発行所 FAX 03-6272-9341
 日蓮宗全国靈断師会連合会 ホームページ
 www.yorokobi-reidanshikai.jp
 会長 大塩孝信
 編集人 吉田憲由
 購読料 1部 100円(税別)
 毎月1回1日発行



よろこびウェブ
 検索



迎春

お題目の信仰生活に精進しましょう



日蓮宗靈断師会連合会会長
 千葉県上市市
正蓮寺聖徒団团长
大塩孝信

新年御挨拶

明けましておめでとございませう。昨年はお正月に能登半島に大きな地震が起こり、まだまだ復興の兆しさえもおぼつかない九月には豪雨により更に大きな災害をこつむり、苦しい日々をおくられていらっしゃる人々へのお見舞いと、おどくなりになられた方々の御慰霊のご回向を申し上げに行つて参ります。



九識靈断法相伝所 伝主
 富山県富山市
利生寺聖徒団团长
末吉観道

新年のご挨拶

令和七年の新春を迎え、謹んで全国海外の俱生神月守を拝受着帯する聖徒各位の弥栄を祈り、各聖徒団の輝かしい未来を寿ぎます。さて、年々歳々移り変わるものの一つが歳の瀬と新年であります。過ぎにし一年を振り返りますと、国内国外を問わず、不幸な天災人災が次から次へと起こりたり起したりの一連年でした。国政では十一月に誕生した内閣が国民の命と財産を護るべく、有意義な政策を実行してくれることを願っています。しかし政治が安定し、経済が発展すれば真の幸福を

た。本年は、日蓮宗全国靈断師会連合会第六十回聖徒団結集身延大会が開催されます。本年の身延大会は新しい試みを考えて、ご参加の皆さまの驚くような大会にするよう本部・組織委員会で考えとともに、聖徒団の团长様や聖徒団の皆さまのお知恵もお借りし、色々なご提案をお願い申し上げます。

日蓮大聖人の御霊のお休みになられる総本山身延山久遠寺が世界と共に栄えることを目指し第九十世の岩間日勇親下が慈愛に満ちたお言葉を示し第九十二世内野日総親下、現在の法主第九十三世持田日勇親下が、共栄運動へと育てられております。

祖師の残された立正安国・世界平和・万民平等・世界とともに栄える事を、これからも日蓮宗全国靈断師会連合会をはじめし聖徒団の皆さまと共に進みます。皆さまと宗祖日蓮大聖人様に御目にかかりに参りましょう。合掌

得ることはできるのでしょうか。何故なら人間は衣食住だけ与えられても満足できないからです。法華経と日蓮大聖人のみ教えにそのことがしっかりと説かれています。令和七年を確かな一年にするために、自分の信仰を見直し俱生神月守を拝受着帯し、南無妙法蓮華経の道を持ち・行い・護り・弘め奉る揺るぎない信仰生活に精進されることが肝心です。正しい信仰により多幸をしっかりと掴んで下さい。



合掌

日持上人始出の霊場 間法寺
 monpo 間法寺
 正月元旦 午前0時 祈禱会
 1月16日(木) 午前11時より
 「正月御本尊祭」
 1月26日(日) 「盛運祈願会」
 〒030-1403
 青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
 TEL 0174-25-2712
 住 職 工藤 堯慎・院 首 工藤 堯幸

毎月3日に、ご祈禱を。
 毎月3日 午後4時より
 盛運祈願・先祖供養会
 宗門史跡 常國寺
 広島県福山市熊野町甲 1481

いかされる よろこび
 常唱寺 聖徒団
 岐阜県美濃市千畝町2738-2
 TEL/FAX 0575(33)1430

山野 妙頭寺
 本佐 日蓮大聖人御真骨奉安
 貴首ご法話「ニッキチャンネル」
 齊藤日軌貴首の著書&CD
 よろこび
 生活に活かす教え
 幸福とは何ぞや、
 幸せになるための
 幸せになるための
 幸福論
 日蓮宗の戒壇、
 その現代的意義
 〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
 TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

本妙山
 感通寺聖徒団
 〒162-0044
 東京都新宿区喜久井町39
 TEL 03-3209-8782
 FAX 03-3208-7966

清道衆講習会を開催

島根県霊断師会



大勢の参加者で熱気あふれる会場



伊藤講師の講義

九月二十八日、出雲市民会館を会場において、島根県霊断師会主催で信仰の信行篤深を目的として、清道衆講習会が開催さ

れた。大曼羅御本尊、俱生神月守などについて、参加者の日々の生活に活力を得、信心を深める研修会となった。

SNSやっています!!



よろこびちゃん SNS限定コラム連載中

連合会より派遣された伊藤講師の貴重な講義をいただき、参加者二十七名(霊断師六名)の聖徒は、日蓮大聖人が身命を賭

して命がけで弘通された、仏になれる道「法華経」に身を捧げ、私たちが聖徒の理想である「成仏」に向かって、手をとり合っ

人でも多く幸せになれるように教化・化導し、菩薩行を実践しようとして受けておりました。

育てたように育つ 子と孫は

岐阜県美濃市 常唱寺聖徒団(阪口慈幸団長)



左: 阪口祐名さん 右: 阪口琉翔君

学校五年・阪口祐名さんが参加しました。

琉翔君は「僕は沙弥校が好きになりました。境内で鬼ごっこをしたり、お風呂屋さんに行ったり、



太鼓を打つ琉翔君

日蓮聖人のお話しをしてくれたり、お上人たちが色々教えてくださいました。僕はお上人さんみたいになりたい。」

た。

連合会の創始、故・新聞智羅上人(平成三十年五月三日遷化、常洗院日良上人)も我々の後継ぎを育てることが第一と始まった、沙弥校、僧風林です。連合会の団長上人、聖徒団の皆さん、育てたように育つ、子と孫は。この一節を噛み締め今年の記念すべき第六十回全国聖徒団結集身延大会に参加し、盛大成る結集大会にしようではありませんか。身延山で会いましょう!!

日蓮宗全国霊断師会連合会、全国の団長上人、聖徒団の皆さん、元気に令和七年正月元旦をお迎えのことと思います。

昨年の七月二十四日から二十七日の三泊四日にて、千葉県柏市妙照寺様を会場に第三十七回沙弥校、第二十三回僧風林が開催され、美濃常唱寺聖徒団にて

祐名さんは「私はたくさんのお経を大きな声で読んで、日本中から集まった子と一緒にお経を唱えたのは始めてでした。お経を読み終えた後に、疲れたね次もがんばろうと声をかけ合

い、始めより声が大きくなっていったと思います。沙弥校が終わっても、この力を大切に家族に伝えたい。」との感想でし



身延山で会いましょう!

教誌「よろこび」百部以上ご購入ありがとうございます。

都道府県名	聖徒団名	ご芳名
三百部以上ご購入		
東京都	日朝寺光明聖徒団	尾崎 妙翠 上人
岩手県	仙壽院聖徒団	芝崎 惠應 上人
二百五十部以上ご購入		
栃木県	妙福寺聖徒団	野澤 壯監 上人
二百部以上ご購入		
北海道	昌福寺聖徒団	野中 隆謙 上人
東京都	感通寺聖徒団	新間 正興 上人
岐阜県	常唱寺聖徒団	阪口 慈幸 上人
五百部以上ご購入		
千葉県	頭本寺聖徒団	小泉 輝泰 上人
岩手県	法華寺聖徒団	阿部 是秀 上人
富山県	利生寺聖徒団	末吉 観道 上人
百部以上ご購入		
広島県	常國寺聖徒団	濱田 壽教 上人
埼玉県	龍音寺聖徒団	齋藤 龍健 上人
愛媛県	本妙寺聖徒団	村口 泰慈 上人
宮崎県	龍雲寺聖徒団	吉田 憲由 上人
東京都	長栄寺聖徒団	光枝 浩生 上人
神奈川県	本典寺聖徒団	戸田 教榮 上人
千葉県	正蓮寺聖徒団	大塩 孝信 上人
千葉県	妙照寺聖徒団	瀬川 観常 上人
愛知県	妙泉寺聖徒団	石黒 泰良 上人
愛知県	本覚寺聖徒団	伊藤 守温 上人
滋賀県	常昌寺聖徒団	早瀬 光玄 上人
島根県	妙法寺聖徒団	蔵本 知宏 上人
長崎県	大光寺聖徒団	大野 光法 上人
宮崎県	本東寺聖徒団	吉田 海心 上人
福島県	経王寺聖徒団	中田 憲孝 上人
青森県	聞法寺聖徒団	工藤 堯慎 上人

毎月ご購入の皆様

ご協力誠にありがとうございます。

(令和六年十二月まで)

第百五十四回 日蓮大聖人の歩まれた道 流刑地での苦悩

九識靈断法相伝所員

小泉 輝泰

「かゝる地頭・万民、日蓮をにくみねたむ事鎌倉よりもすぎたり。みるものは目をひき、さく人はあだ(怨)む。」

(舟守弥三郎許御書)

かくして舟守弥三郎によって九死に一生を得た日蓮大聖人は、本来の取り決め通り流罪人として伊東の領主である伊東祐光のあずかりとなりました。とはいっても戦に敗れた名立たる武將ではありませんので、どこかの屋敷に軟禁され四六時中監視の目に晒されるわけではありません。よくいえば放任、悪く言えば放置状態です。

といわれた理由がここにあります。一般的な罪人はただ流刑の地へ連れていかれるのみ、「あとは死のうが生きようが知ったことではない」というのが当時の流罪の在り方なのです。おそらく多くの罪人は、満足な食料もなく飢えて人知れず命を落としていたことでしょう。あるいは盗賊や野党の類であれば、徒党を組み野ウサギや鳥を狩って生き延びることも出来たかもしれません。しかし出家の身である大聖人にはそのような術などないのです。



しかも冒頭のご文章に見られるように、「僧衣をまといた坊さんに成りました大罪人が、伊東へ流されてくる」といった噂が既に幕府の手によって広められていたものと思われます。伊東の領民たちはもちろんのこと、領主ですらみな大聖人を恐れ、誰一人近付こうともしません。鎌倉の辻に立っていたころよりも尚、大聖人に対する大衆の目は厳しく冷たいものであったことでしょう。そうした状況の中ですので、伊東に到着してからの日々は雨風をしの

ぐ場所もなく、わずかな草を食むことしか出来ない辛く厳しいものであったことが弥三郎へのお手紙からも伺えます。そのころ舟守弥三郎は、家に戻ると不思議な僧侶を助けた話を妻に聞かせました。それを聞いた妻は「それは尊い行いをしなすった」と夫の善行を喜ぶ一方で、「そのお坊さまは、今ごろひもじい思いをしてはおらんかの」と大聖人の身が気になって仕方ありません。もちろんそれは弥三郎とて同じことです。罪人に施しをするなどもっての外ではありませんが、相手は尊い出家の身です。夫婦の心配は日に日に募り、ある日ついに意を決して僅かな食べ物を手にとり僧侶を訊ねるため家を出たのでした。

送り届けた船着き場を中心に、心当たりを訪ね歩きながら会う人会う人に「このような坊さまを見かけなただか」と聞いて廻りますが、みな口々に「そ

のような者はしらん」「そんな者の話はするな」と足蹴にされてしまします。これはいよいよ何かがおかしい、夫婦は胸騒ぎを覚えながらあちろひちろひと懸命に探し歩きました。そしてようやく、哀れな姿でさまよう一人の僧侶を見つけたのです。

身延大会に参加しました

※令和五年度(第五十八回身延大会)の取材記事です。

前田 洋子さん

東京都新島 長栄寺聖徒団(光枝浩生団長)

島から飛行機に乗って、東京から車で身延山にきました。身延大会は四年前まで毎年参加していた妻は「それは尊い行いをしなすった」と夫の善行を喜ぶ一方で、「そのお坊さまは、今ごろひもじい思いをしてはおらんかの」と大聖人の身が気になって仕方ありません。もちろんそれは弥三郎とて同じことです。罪人に施しをするなどもっての外ではありませんが、相手は尊い出家の身です。夫婦の心配は日に日に募り、ある日ついに意を決して僅かな食べ物を手にとり僧侶を訊ねるため家を出たのでした。



小林 由典さん

愛知県 本成寺聖徒団(天野行淳団長)

身延大会には、四年前までずっと連続して参加していました。今回で二十三回目です。久しぶりの参加でとても嬉しく思っています。今回は私と母親の当病平癒と身体健全を祈りました。これからも健康に気をつけて来年も参加したいと思えます。



一人で悩まずに九識靈断法

わからないことは
ほとけさまに相談

九識靈断法

くしきれいだんほう

悩みを抱えたとき、進路に迷ったときには、九識靈断法があります。これは日蓮大聖人のお教えから生まれた運命鑑定です。幸せな人生のために、よりよき人生のために。

相談内容

- 家運 業運 金融 縁談 交渉 取引 選挙
- 訴訟 失物 病氣 就職 受験 人物 移転
- 旅行 企画 など

相談例 七面山登詣ができますか

(相談者) 八十歳 女性 主婦
とある聖徒団で、身延大会に参加した後の七面山登詣の計画を立てた。大会終了後、午後一時頃に宿坊を出発し、二時頃から登山して翌日朝食後下山し、往復表山道を利用する予定である。この計画に参加したいと女性が相談に来た。本人は「今生では最初で最後の登詣になるから是非連れて行って欲しい」とのこと。霊断法で無事に登詣できるかの相談である。

【御宝前にて霊断】

【霊断師による指導】
霊断法によれば、登詣に必要な本人の体力と気力は十分にあるようです。七面山に登山し始めた前半は自分なりのペースで登っていくことができますが、後半に入り疲れも重なってか、自信を失うように気落ちするか体力的に苦しい場面があるかもしれません。お題目を唱えながら敬儀院まで到着できるようにゆっくり登っていきましょう。翌日の下山については十分な体力・気力があるようなので心配いりません。

【結果】

二人の同行者を付き添わせた。三十六丁目の手前で少し弱音を吐いたが、同行者に励まされ元気に登詣できた。八十歳ということもあり、登りには六時間かかったが、下りも大きな問題なく無事七面大明神様へ参拝することができた。本人は御守護によって参拝できたこととても喜んだ。



連合会 会長
全国教師連盟評議委員
千葉県教師会会長
日蓮宗教師会理事
正蓮寺聖徒団团长

大塩 孝信

〒二九〇〇一五
千葉県市原市瀬又一三〇一
TEL〇四三六五二一〇二〇七
FAX〇四三六五二一〇二〇七

連合会 九識靈断法伝主
利生寺聖徒団团长

末吉 観道
副团长

末吉 正道

〒九三〇〇五五
富山県富山市梅沢町三一六一〇
TEL〇七六一四二一八七七六
FAX〇七六一四二一八二五〇

連合会 副議長
九識靈断法相伝所所員
妙泉寺聖徒団团长

石黒 泰良
副团长

石黒 友寛

毎月、自坊にて「霊断塾」を開催しております。基礎から学びたい方、霊断布教に燃えるあなたを待ちしております。

〒四六一〇〇五
愛知県名古屋市中区東横二一六四三
TEL〇五二一九三二一八四九〇
FAX〇五二一九三二一八四九一

連合会 事務局長
照恵寺聖徒団团长

品田 祥皓

〒〇五五〇一〇四
北海道沙流郡平取町柴雲古津二二二七
TEL〇一四五七二一三一二七
FAX〇一四五七二一三三九一

連合会 事務局副長
妙照寺聖徒団团长

瀬川 観常

〒二七七〇九〇二
千葉県柏市大井一〇七〇
TEL〇四一七一九一六〇一七
FAX〇四一七一九三〇九六三

連合会 総務部長
常唱寺聖徒団副团长

阪口 映徳

〒五〇一三三三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八一
TEL〇五七五三三三二一四三〇
FAX〇五七五三三三二〇三九

妙福寺聖徒団

团长 **野澤 壯監**
院首 **野澤 文立**
霊断師 **野澤 優介**

霊断法と月守で、新しい明日を切り開いていきましょう

〒三三九一三三二
栃木県さくら市馬場一〇八一

本妙寺聖徒団团长

副团长 **小林 義明**
小林 泰典

〒九五九一〇二二
新潟県阿賀野市中央町一三三二一
TEL〇二五〇一六三二八九六二
FAX〇二五〇一六二二二五〇二

岐阜県霊断師会会長(常任理事)
常唱寺聖徒団团长

阪口 慈幸

育てたように育つ誰が？子どもと孫！
本年第六十回全国聖徒団結集身延大会、この記念大会には是非参加を！
身延山で会いましょうね。 俱生神月守を着体

〒五〇一三三三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八一
TEL〇五七五三三三二一四三〇
FAX〇五七五三三三二〇三九

法華寺聖徒団团长
妙恩寺観音講聖徒団团长

阿部 是秀
副团长 **阿部 是隆**
副团长 **阿部 是祐**

霊断師 **阿部 是宏**
霊断師 **戸塚 是祐**

〒二八〇三〇四 岩手県遠野市宮守町下宮守三二六九一
TEL〇一八八一六七三二二六六
FAX〇一八八一六七三二二二七
一人でも多くの方々に俱生神月守様を身に付けて生きて、幸せをしっかりと体感して欲しいと願っております。

青森県開法寺聖徒団
祈 俱生神月守 三千体達成成就

開法寺住職 **工藤 堯慎**
院首 **工藤 堯幸** 護持会長 **最上 達義**
総代 **三浦 隆徳** 副会長 **木浪 一光**
信行会長 **松山 涉**
専務部長 **張間 博義**

外信徒一同

〒〇三〇一四〇三
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田五二二
TEL〇一七四二二五二二七二二
FAX〇一七四二二五二二六〇七

本妙寺聖徒団团长

副团长 **村口 泰慈**
村口 泰淳

〒七九九一三三二
愛媛県西条市国安四二
TEL〇八九八六六五四〇九
FAX〇八九八六六六一六〇

東京都霊断師会

東部会長 **光枝 浩生** 事務局 **新聞 正興**
西部会長 **林 重仁** 尾崎 **妙翠**
南部会長 **室矢 教良** 会計 **一番ヶ瀬 妙燈**
北部会長 **村上 慈眼** 村上 **寿麻**

和歌山県霊断師会

会長 **蘆田 忠教** 幹事 **吉野 俊幸**
副会長 **松森 孝雄** 通信員 **野田 寛行**
監査 **守法 秀聡** 清水 **文雅**
柳本 誕忍 通信員 **清水 慶隆**
松本 惠昌 幹事 **守法 延康**
青木 章光 幹事 **清水 香光**

九識靈断法相伝所所員
経蔵寺聖徒団团长

望月 龍賢

〒三九五〇〇〇三
長野県飯田市上郷別府一七六八
TEL〇二六五二二六八五〇
FAX〇二六五二二六八五八

法光寺聖徒団团长
正蓮寺聖徒団副团长

大塩 裕孝

〒二九〇〇一五
千葉県市原市瀬又一三〇一
TEL〇四三六五二一〇二〇七
FAX〇四三六五二一〇二〇七

大分県霊断師会

会長 **廣田 学良** 会員 **建 栄子**
副会長 **飯盛 義教** 会員 **三ヶ尻りつ子**
監事 **杉本 顕誠** 会員 **三ヶ尻 和生**
監事 **三ヶ尻 学生** 会員 **杉本 尚子**
事務局 **後藤 正軌** 会員 **廣田 祥子**
会員 **建 光行** 会員 **廣田 千城**

宮・鹿・沖霊断師会

顧問 **吉田 海心** 通信員 **片寄 智康**
監事 **片寄 智雄** 会員 **白水 裕子**
会長 **吉田 静正** 海野 **資子**
事務局 **吉田 憲由** 吉田 **憲史**
会計 **吉良 貴徳** 吉田 **叡史**

本東寺聖徒団团长
宮崎・鹿児島・沖縄県 霊断師会会長

吉田 海心
吉田 静正

〒八八二〇〇六二
宮崎県延岡市松山町一三三三
TEL〇九八二一三三二二七
FAX〇九八二一三三二二七

円融寺聖徒団团长

山口 忠信

〒六七五二三〇二
兵庫県加西市北条町栗田三三八
TEL〇七九〇四二二二一八
FAX〇七九〇四二二〇三九一

連合会 副会長
日蓮宗宗会議員
実相寺聖徒団团长

松永 慈弘

〒三三二一〇〇四
埼玉県川口市領家二一四一
TEL 〇四八二二二一四五六
FAX 〇四八二二二一四五六

連合会 副会長
宗門史跡 常國寺聖徒団团长

濱田 壽教

〒七二〇〇四一
広島県福山市熊野町甲一四八一
TEL 〇八四九五九一〇〇〇
FAX 〇八四九五九一〇〇〇

連合会 終身名誉顧問
妙本寺福德聖徒団团长

吉田 亮善

〒六九一〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二
TEL 〇八五三三六六〇〇五六
FAX 〇八五三三六六〇〇五七

連合会 議長
制度調査委員
本妙寺聖徒団团长

若林 壽学

〒二七〇一三三
千葉県我孫子市岡発戸一三八〇一七
TEL 〇四一七八三八〇二七
FAX 〇四一七八五一一五三六

連合会 伝道部長
長榮山妙福寺聖徒団团长

大森 映孝

〒三三九一三二
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一四
TEL 〇二八六六六六一二四七
FAX 兼用

連合会 教宣部長
龍雲寺聖徒団团长

吉田 憲由

副团长 吉田 憲史
靈断師 吉田 叡史
教誌・よろこびを読んで
一緒に信仰を学びましょう!
〒八八九一〇一
宮崎県児湯郡都農町川北三七二九

連合会 教学部長
龍光寺聖徒団团长

松森 孝雄

毎月第一日曜日、
十四時より盛運祈願祭
〒六四〇一三三
和歌山県海草郡紀美野町動木一四九五
TEL 〇七三三四八九一五六三
FAX 〇七三三四八九一五六二

連合会 教務部部长
本覚寺聖徒団

伊藤 秀温

〒四六一〇〇二五
愛知県名古屋市中区徳川二一六一一六
TEL 〇五二九九三六一三五〇九
FAX 〇五二九九三六一三五三九

長栄寺院首

光枝 海元

東京都東部靈断師会会長(理事)
長栄寺聖徒団团长

光枝 浩生

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三一六一四
TEL 〇四九九二一五〇一六八
FAX 〇四九九二一五〇一六一

日蓮宗青森県靈断師会

会長 飛鳥 玄龍
副会長 工藤 泰輝
幹事長 葛原 圭静(本部靈断部員)
幹事 川上 洋行 幹事 山崎 随祥(通信員)
監事 横山 秀悠(庶務) 幹事 山田 瀧仙(通信員)
幹事 木立 智大(会計) 幹事 加藤 曉宏
幹事 小野 泰博(通信員)
顧問 工藤 堯幸 顧問 小山 威光
顧問 小野 泰幹

広島県靈断師会

会長 濱田 壽教 通信員 堤 祐弥
副会長 根師 哲朗 局員 根師 瑞香
副会長 野田 佳朗 局員 濱田 蓮未
事務局長 富安 妙照 会員一同

日蓮宗島根県靈断師会

九州教区常任理事会会長(常任理事)
大光寺聖徒団团长

大野 光法

〒八五九一六二〇四
長崎県佐世保市鹿町下歌ヶ浦八一
TEL 〇九五六一七七四七九四

九識靈断法相伝所所員
日蓮宗宗会議員
顕本寺聖徒団团长

小泉 輝泰

〒二九五〇〇〇二
千葉県南房総市千倉川合六九〇一
TEL 〇四七〇一四四一〇六二
FAX 〇四七〇一四四一〇五二四

神奈川県靈断師会会長
本典寺聖徒団团长

戸田 教栄

〒二五六〇八二六
神奈川県小田原市酒匂三一十七
TEL 〇四六五二四七四八三三
FAX 〇四六五二四九一三三三

青森県靈断師会会長(常任理事)
靈断法解説講師
道円寺聖徒団团长

飛鳥 玄龍

副团长 飛鳥 玄宗
〒〇三八一三二二
青森県つがる市木造川除栄盛七

創立七〇〇年 湖北第一法華道場
日像菩薩留錫開基之名刹
小足山常昌寺聖徒団团长

早瀬 光玄

〒五二六〇八四一
滋賀県長浜市新栄町四〇二
TEL 〇七四九一六二一四四九二(FAX兼用)

第三十六代全国日蓮宗青年会会長
朝善寺聖徒団团长

工藤 堯顯

〒四一四一〇〇一
静岡県伊東市宇佐美八四五
TEL 〇五五七四八一九三二九

真成寺聖徒団团长

谷川 寛俊

副团长 谷川 寛敬
〒九三七一〇八七
富山県魚津市真成寺町四一六
TEL 〇七六五二二二二二六八
FAX 〇七六五二二二二二六八

最上稲荷 蓮照院

須藤 慈慧

〒七〇八一〇七四
岡山県津山市福渡町五四番地
電話 〇八一〇三三八〇四一七〇七

日朝寺光明聖徒団团长

尾崎 妙翠

〒一九二〇〇五六
東京都八王子市追分町六一一五
TEL 〇四二一六二六一〇一九
FAX 〇四二一六四九一六五二〇

新年も 家族みんなで お題目
信に唱えて 明るいなに

いつも「教誌よろこび」をご愛読いただき、
ありがとうございます

みなさまからの投稿を募集しています
〈体験談・感想文・聖徒さん紹介・全国のよ
ろこびちゃん等〉どしどしお寄せください

日蓮宗全国靈断師会連合会
教宣部

みおしえ



「佛教をならはん者、父母・師匠・国恩をわするべしや。此の大恩をほうぜんには必ず佛法をならひきはめ、智者とならで叶ふべきか」

訳：仏教を習学し実践しようとする者は父母・師匠・国家社会に対する恩を忘れてはならない。この大恩に報いるためには、必ず仏法を習い究めて智者とならなければならない。



見教 井部 教見
部長 聖徒会 千葉県全連
部員 聖徒会 千葉県全連

知恩・報恩(その二)

前回の続きとなります。前回、恩返しには二つの要素、「知恩」と「報恩」があること、そして知恩について詳しく見てまいりました。今回は報恩についてとなります。

報恩とは、字の通り、恩に報いる、恩を返すという行為のことです。恩とは他からいただいた恵みのことであり、いわば色々なおかげさまの結晶といえます。まずはそれに気付くこと、恩を知ること(知恩)が報恩の第一歩となります。その上でその恩に報いるわけですが、一般に報恩には大きく二つあるとされます。一つは、恩を受けたそのお相手に、それに見合っただけの事をお返しすることです。もう一つは、恩を受けたそのお相手はもちろん、他の人達に対しても、自分のできる形で何かしらの恵

みを与えることです。前者はよく知られている通りですが、後者もまた広く恩返しに含まれると考えられています。そして特に後者はその性質から「恩送り」とも言われます。受けた恵みを次へと送る、送られた人がまた次へと送り、そのように恵みを送り続け循環させていくことが共同体全体の恵みとなり、皆が豊かになることができます。いわば私という人間は様々なおかげさまによって恵みを得ることができていますが、恩送りをすること、今度は自分自身が「誰かのおかげさま」となり恵みを与えることができます。

ただ、日蓮聖人のお考えになる報恩には、一般的な意味合いはむしろ別のもの、さらにもう一步深い意味がございます。そもそも受けた恩というものは、そのお相手に同じ恩を返すことが難しいという性質があります。例えば、命をいただいた両親に対して同じように命を返そうと思ってもそれはできないことです。し、命に見合ったものを返すとしてもそれが何なのかというのには簡単には答えられませんが、この難問に対し、日蓮聖人は、仏道に励むこと、自身が仏となり他をも仏へと導くことこそが真の報恩であると仰っております。「誰かのおかげさま」になるのはもちろんのこと、それに加えてお題目の道を持ち・行い・護り・弘めることを通して、「誰かの仏さま」へとなること、それこそが真の報恩となります。恩の大きさを知れば知るほど恐縮してしまいますが、まずはできる範囲で仏の行いをしていきましょう。最初の一步は、俱生神月守を胸にお題目をお唱えすることです。その時、自分自身だけではなく誰かのためにも祈ること、それが報恩の実践になります。小さな一歩が積み重なり「誰かのおかげさま」へ、さらには「誰かの仏さま」へとなっていくのです。その道を一歩一歩楽しみながら、そして笑顔の花を咲かせながら、共に歩んでまいりましょう。

おらが寺の守護神(第二十九回)

本證寺の浄行菩薩

富山県富山市 本證寺聖徒団(櫻栄亮介団長)



修復された浄行菩薩尊像

富山県富山市の本證寺に祀られていた浄行菩薩は、明治三年に「洗心堂」として建立されました。昭和二十年八月二日富山大空襲により、お堂が焼失したものの浄行菩薩は残っていましたが、身体が半分に割れ、さらに

令和六年能登半島地震の影響により倒壊してしまい、再度身体が割れ、お顔も崩れてしまいました。先代と現在の二代の住職により修復する事が出来ましたが、こちらの浄行菩薩は富山県の被害を受けた傷跡を背負っています。万物を活かし洗い清め、さらに私達自身を洗い清め、障りなき清浄な身となるようお願いする為に水を掛けて束子で撫で擦りながら参拝され、花も綺麗にお供えいただいております。また、毎年九月十日十四時に「浄行祭」を行っています。水徳をお持ちの菩薩であって、この日のお参りの時間は晴れてくれる」と住職は仰います。

よろこびちゃんの質問箱

「破魔矢」について教えて！

みんな、あけましておめでとう！令和七年もよろしくね。お正月に初詣に行くと、縁起物の「破魔矢」を見かけるわね。

現代では魔除け・厄除けの飾りだけでなく、そのルーツはお正月に行われていた「射礼(じやらい)」という弓の腕を競う行事にあるのよ。

「射礼」で用いられた的を「ハマ」と呼んだの。ハマに向かって射る矢だから「ハマ矢」と呼ぶようになり、いつしか「魔を破る」という意味の「破魔」という漢字が当てられたのよ。

ちなみに「破魔」という言葉は、仏教でも深い関係があるわ。

仏教では、「魔」は心を乱して修行を妨げる煩惱の象徴とされているの。つまり、「破魔」には、魔を消滅して煩惱に打ち勝つ、という意味があるのよ。

今年も一年間、穏やかに過ごすためにも、魔に負けないように、毎日しっかりとお題目をお唱えしましょうね。

よろこびちゃんに質問がある方は九段事務所までご連絡ください。



身延山でお会いしましょう

霊山橋

ご廟所へ向かう途中、石段の手前にある石橋で、大聖人の御消息にもしばしば登場する身延川に架けられています。

霊山とは、お釈迦さまが法華経をお説きになっている法華経の霊山浄土のことです。大聖人は「かの月氏の霊鷲山は本朝この身延の嶺なり」あるいは「仏菩薩の住みたもう功德聚の砌なり」などと仰っており、この地に霊山浄土を感得されました。

霊山浄土感得の霊域へ詣でるための橋としてこの名前が付けられました。



よろこび法話

ぼだいてい 身延山の菩提梯



日蓮宗全国霊断師会連合会 総務部長
岐阜県美濃市 常唱寺聖徒団副団長

阪口映徳

身延山のある伝説があります。その昔、新潟の佐渡に仁蔵(にぞう)という男がおりました。母が熱心な法華経の信者だったので「一度は身延山へお参りしたいものだ」と思っていた仁蔵は、半漁半農の生活でやっこの思いでお金を貯め、母を背負って身延山へ参りました。当時の険



しい坂道でしたが、隅々まで参ったところ、母は「もう思い残すことはない。ありがとうよ」と言っていて、とても喜んでくれました。しかし、帰り際に「ここに石段でもあったら参詣の方々がどんなに助かるだろうね」と言った母の言葉は、仁蔵の耳から離れないのでした。

母は相当嬉しかったのでしょう。郷に帰ると、来る人ごとに笑顔で身延山の話に花を咲かせます。そうして数年が経ち、母は静かに亡くなりました。心にポッカリ穴の開いた仁蔵は、母と行った身延山詣でを思い出します。母の「ここに石段でもあったら…」の言葉。しかし、どうにもそんなお金は用意できません。飲まず食わずの生活でも一生かかったって無理な話です。

ある日、母のお墓参りに行って一生懸命お題目を唱えていると、「一人で作ろうと思わなくて良いんだよ。他にも沢山の人がいるんだから。はじめの二、三段造っておけば、そのうちそれに継ぎ足していけるだろう。そうすればやがてはできるじゃないか」と聞こえた。「そうだ!それなら俺にもできるだろう」と気付いたのです。それから一生懸命に働いて十数年後、お金を貯めて山梨県の鵜沢までやって来ました。

鵜沢は当時の物流の拠点。しかし、母と一緒に泊まった頃の宿場町の賑わいは無く、人っ子一人いません。不思議に思い、以前に泊まった宿屋を訪ねると、軒先で主人がしょんぼりしています。訳を聞くと、この辺り一帯が飢饉で大変な有様。仁蔵は「今これを見過ごしたら、この人たちを助けることができなくなる。お金はまた稼げば良い」と、持っていたお金を宿屋に置いて佐渡に帰ってしまいました。

それからは心機一転、人よりも更に二時間長く働きました。十余年が経ったある日、他の船が先に帰った後、いつものように月明かりで漁をしていると、佐渡の山にピカッと光が見えました。次の朝、眠れぬままに山の上へ登ってみると、異様な岩石を見付けました。これが佐渡の金山の始まりだったと言います。

正直に申し出て幕府から恩賞金を贈られた仁蔵は「これでやっとお袋の念願を果たせる」と、再び身延山に向かうのでした。鵜沢にやってくる時、沢山の商人が行き交い、母と一緒に訪れたあの頃に増して賑わっていました。宿屋でのこと、夕食の後に主人が挨拶に参ります。顔を上げ、仁蔵に気付いた主人。恩人の再会に感謝と喜びで涙が止まらぬままに、町中へ駆け回りました。町の人たちも駆け付けて来て、それこそ泣いて喜んでくれました。母の念願を果たすため、身延山へ石段奉納に来た」と聞いて、口々に「是非とも我々もお供させてください」との言葉。翌日、仁蔵が一番の舟で先に身延山に入り、山内の許可を得て近郷の石屋を集めました。話を聞いた界隈の人たちも「我こそ!今こそ」と皆駆け付け、お参りの人たちも手伝ってくれたり、寄付をしてくれました。そうして、菩提梯は一気にできあがったのです。



日蓮大聖人は「この山では吹く風

※詳細については諸説あります。

も揺れる木草も流れる水の音までも南無妙法蓮華経と唱えている」と仰いました。子や孫とともに、ひとたび身延山の門をくぐれば、自然と皆にお題目が浸透し幸福の継承につながります。令和七年度の身延大会は第六十回を迎えます。お誘いあわせの上、多数ご参加ください。

本誌イラスト 小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol.132



岐阜県美濃市 常唱寺聖徒団 (阪口慈幸団長) 前川斐奈子ちゃん 十七才 高校受験の不安の中、霊断法で道しるべを示していただいた事で視界が晴れ、自信を持つことが出来ました。俱生神月守を帯し勉強に励み、無事希望高校に合格しました。今夢に向かって頑張っています。

俱生神月守



毎月身延山で開眼・祈願し皆様の聖徒団に届きます

●家族みんなで持ちましょう。 ●経営者の方は、是非 従業員皆で着帯しましょう。(異休同心の職場になります)

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」

〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

長栄寺聖徒団

漆原 幸一さん

ナノブレーティングという会社を設立し技術を大手企業と提携し共同開発しています 御守護に感謝です

三松山 長栄寺

〒100-0402
東京都新島村本村3-1-4
TEL 04992(5)0168
FAX 04992(5)0111

利生寺

日蓮宗霊断師会連合会 伝主
利生寺聖徒団 団長

末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776
FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会連合会 会長
正蓮寺聖徒団 団長

大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288